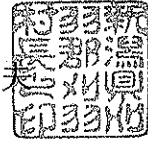


建企第 98 号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

刈羽村長 品田宏夫



中期的な計画の作成にあたっての意見について
(提出)

表題について、平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼がありましたので、別紙のとおり提出します。

中期的な計画の作成に当たっての意見提出

幹線道路は原子力災害発生時の避難路である

- ① 柏崎刈羽原子力発電所は世界最大の原子力電源である。万が一甚大な事故が起き放射能汚染が危惧されるとき、唯一の対処法は避難である。
- ② その意味からも R8 と北陸道は重要な避難路としての潜在的使命を持っている。
- ③ 一般的な基準で判断したなら、昨今の事情を鑑みただ R8 柏崎バイパスの工事進捗状況は妥当とみるむきもあるが、当地には電源地域という特殊事情がある。
- ④ R8 柏崎バイパス工事の早期完成と高速道への乗り入れは、スマート IC・非常時の乗り入れ口を問わず、道路が担う使命と価値を高めることは明らかである。

価値ある整備に集中投資といった観点からも以上の意見は喫緊の課題と受け止められたい。